

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公表番号】特表2006-514960(P2006-514960A)

【公表日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2006-019

【出願番号】特願2004-566641(P2004-566641)

【国際特許分類】

C 0 7 D 285/08	(2006.01)
A 6 1 K 45/00	(2006.01)
C 0 7 D 285/10	(2006.01)
A 6 1 K 31/433	(2006.01)
A 6 1 P 37/06	(2006.01)
A 6 1 P 35/00	(2006.01)
A 6 1 P 9/00	(2006.01)
A 6 1 P 13/12	(2006.01)
A 6 1 P 29/00	(2006.01)
A 6 1 P 19/02	(2006.01)
A 6 1 P 17/00	(2006.01)
A 6 1 P 3/10	(2006.01)
A 6 1 P 7/06	(2006.01)
A 6 1 P 7/02	(2006.01)
A 6 1 P 37/08	(2006.01)
A 6 1 P 1/16	(2006.01)
A 6 1 P 21/04	(2006.01)
A 6 1 P 25/00	(2006.01)
A 6 1 P 1/04	(2006.01)
A 6 1 P 17/06	(2006.01)
A 6 1 P 35/02	(2006.01)
C 0 7 D 417/06	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 285/08	C S P
A 6 1 K 45/00	
C 0 7 D 285/10	
A 6 1 K 31/433	
A 6 1 P 37/06	
A 6 1 P 35/00	
A 6 1 P 9/00	
A 6 1 P 13/12	
A 6 1 P 29/00	1 0 1
A 6 1 P 19/02	
A 6 1 P 17/00	
A 6 1 P 3/10	
A 6 1 P 7/06	
A 6 1 P 7/02	
A 6 1 P 37/08	
A 6 1 P 1/16	
A 6 1 P 21/04	
A 6 1 P 25/00	

A 6 1 P 1/04  
 A 6 1 P 17/06  
 A 6 1 P 35/02  
 C 0 7 D 417/06

## 【手続補正書】

【提出日】平成18年12月28日(2006.12.28)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

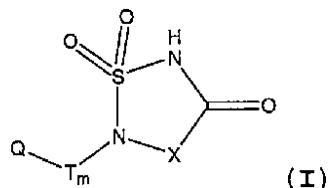
## 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

## 【請求項1】

式(I)の化合物:

## 【化1】



、またはその薬学的に受容可能な塩であって、ここで：

Qは、C<sub>1</sub>～<sub>8</sub>脂肪族、C<sub>6</sub>～<sub>10</sub>アリール、5～10個の環原子を有するヘテロアリール、および3～10個の環原子を有するヘテロシクリルから選択される必要に応じて置換された基であり；

Tは、C<sub>1</sub>～<sub>6</sub>アルキリデン鎖から選択され、ここで、Tの一つまたは二つの非隣接メチレン単位は、必要に応じて、かつ独立して-O-、-NR-、-S-、-C(O)-、-C(O)NR-、-NRC(O)-、-NRC(O)NR-、-SO-、-SO<sub>2</sub>-、-NRSO<sub>2</sub>-、-SO<sub>2</sub>NR-、または-NRSO<sub>2</sub>NR-によって置換され；

mは、0または1から選択され；

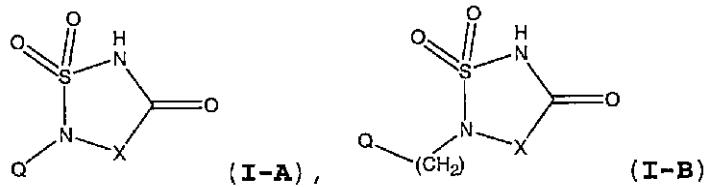
Xは、-CH<sub>2</sub>-、-C(O)-、または-CF<sub>2</sub>-から選択され；および

各Rは、水素、または必要に応じて置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>脂肪族基から独立して選択され、あるいは同じ窒素と結合した二つのR基が、該窒素と一緒にになって、該窒素に加えて0～2個のヘテロ原子を有する3～7員の複素環式環を形成し、ここで、該ヘテロ原子は、独立して窒素、酸素、または硫黄から選択される、化合物。

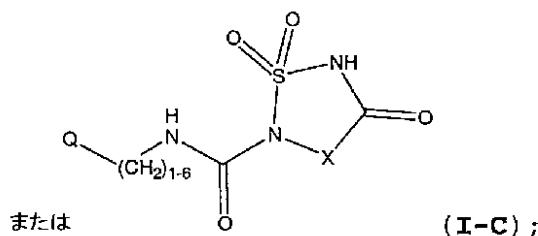
## 【請求項2】

請求項1に記載の化合物であって、ここで、該化合物が：

## 【化2】



## 【化3】



から選択されるか、またはその薬学的に受容可能な塩である、化合物。

## 【請求項3】

請求項2に記載の化合物であって、ここで、Qは、C<sub>6</sub>～<sub>10</sub>アリールおよび5～6員のヘテロシクリルから選択される、化合物。

## 【請求項4】

Xが-C<sub>6</sub>H<sub>5</sub>-である、請求項2に記載の化合物。

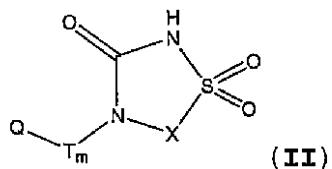
## 【請求項5】

前記化合物が、表1に示される化合物から選択される、請求項1に記載の化合物。

## 【請求項6】

式(I-I)の化合物：

## 【化4】



またはその薬学的に受容可能な塩であって、ここで：

Qは、C<sub>1</sub>～<sub>8</sub>脂肪族、C<sub>6</sub>～<sub>10</sub>アリール、5～10個の環原子を有するヘテロアリール、および3～10個の環原子を有するヘテロシクリルから選択される必要に応じて置換された基であり；

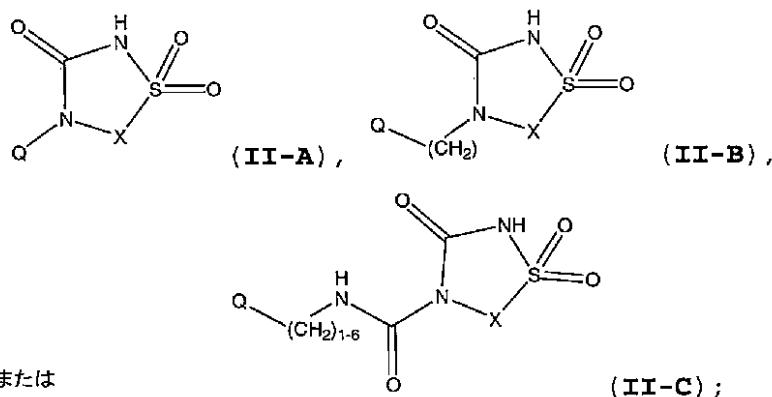
Tは、C<sub>1</sub>～<sub>6</sub>アルキリデン鎖から選択され、ここで、Tの一つまたは二つの非隣接メチレン単位は、必要に応じて、かつ独立して、-O-、-NR-、-S-、-C(O)-、-C(O)NR-、-NRC(O)-、-NRC(O)NR-、-SO-、-SO<sub>2</sub>-、-NRSO<sub>2</sub>-、-SO<sub>2</sub>NR-、または-NRSO<sub>2</sub>NR-によって置換され；mは、0または1から選択され；

Xは、-CH<sub>2</sub>-、-C(O)-、または-CF<sub>2</sub>-から選択され；および各Rは、水素、または必要に応じて置換されたC<sub>1</sub>～<sub>8</sub>脂肪族基から独立して選択され、あるいは同じ窒素と結合した二つのR基が、該窒素と一緒にになって、窒素に加えて0～2個のヘテロ原子を有する3～7員の複素環式環を形成し、ここで、該ヘテロ原子は、独立して窒素、酸素、または硫黄から選択される、化合物。

## 【請求項7】

請求項6に記載の化合物であって、該化合物が：

## 【化5】



から選択されるか、またはその薬学的に受容可能な塩である、化合物。

## 【請求項8】

請求項7に記載の化合物であって、Qは、C<sub>6</sub>～<sub>10</sub>アリールおよび5～6員のヘテロシクリルから選択される、化合物。

## 【請求項9】

Xが-C<sub>6</sub>H<sub>5</sub>-である、請求項7に記載の化合物。

## 【請求項10】

請求項1～9のいずれか1項に記載の化合物、および薬学的に受容可能なキャリア、アジュvant、またはビヒクル、を含む薬学的組成物。

## 【請求項11】

前記組成物が、さらなる治療薬剤を含む、請求項10に記載の組成物。

## 【請求項12】

患者において自己免疫性疾患、増殖性疾患、脈管形成障害、および癌から選択される疾患を処置、または予防するための、請求項10に記載の組成物。

## 【請求項13】

請求項12に記載の組成物であって、該組成物は、糸状体腎炎、リウマチ性関節炎、全身性エリテストーデス、強皮症、慢性甲状腺炎、グレーブス病、自己免疫腎炎、糖尿病、自己免疫溶血性貧血、自己免疫好中球減少症、血小板減少症、アトピー性皮膚炎、慢性活動性肝炎、重症筋無力症、多発性硬化症、炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病、乾癬、または移植片対宿主疾患から選択される自己免疫性疾患を処置、または予防するのに使用される、組成物。

## 【請求項14】

請求項12に記載の組成物であって、該組成物が、急性骨髓性白血病、慢性骨髓性白血病、転移性黒色腫、カポジ肉腫、多発性骨髓腫、およびHTLV-1-媒介性腫瘍形成から選択される増殖性疾患を処置、または予防するのに使用される、組成物。

## 【請求項15】

請求項12に記載の組成物であって、該組成物が、固体の腫瘍、眼内新血管新生、および幼児性血管腫から選択される血管形成障害を処置、または予防するのに使用される、組成物。

## 【請求項16】

結腸癌、乳癌、胃癌、および卵巣癌から選択される癌を処置、または予防するのに使用される、請求項12に記載の組成物。

## 【請求項17】

さらなる治療薬剤をさらに含む、請求項12に記載の組成物。

## 【請求項18】

前記さらなる治療薬剤が化学治療剤、抗増殖剤、および抗炎症剤から選択される、請求項17に記載の組成物。